



Minami Wakayama  
Medical Center

Vol.69

発刊：令和7年1月

# 南 輝

なんき

独立行政法人国立病院機構 南和歌山医療センターだより



田辺湾の夕陽

## 基本理念 思いやりのある医療を実践します。

あなたの権利を尊重し  
あなたを中心とした  
あなたに適した医療を提供します

1. プライバシーの尊重を実践します。
2. 親切・丁寧なケアを実践します。
3. わかりやすい説明と納得による診断治療を実践します。
4. 地域医療機関との連携強化を図ります。
5. 自ら研鑽に努め、良質な医療の提供に役立てます。



Minami Wakayama  
Medical Center

南和歌山医療センターの基本理念である  
『思いやりのある医療を実践します』に基づき、

1. 明るく (A)
2. 挨拶があり (A)
3. 愛のある (A)
4. アカウンタビリティ (納得説明義務) (A)

の4つの頭文字のAを基本デザインとしています。

これは丸みをおびた形でやさしさを表現し、4つの理念が集まることで、空 (明るい未来) に向かって羽ばたく鳥を表しています。4つのカラーは黄色が明るさ、赤が愛、青と緑は南和歌山の自然の象徴である綺麗な海と、山を表現し、南和歌山医療センターの環境の良さもアピールしています。

### 受診者の皆様の義務

- 南和歌山医療センターは受診者の皆様と病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが安全かつ良質な医療の提供につながるものと考えます。  
受診者の皆様には以下の事項に合意し、守っていただかなくてはなりません。
1. 安全かつ最善の診療のためにご自身の身体や必要事項に関する情報を、私たち職員に正確に伝えていただくこと
  2. 検査・治療は説明を受け、納得・合意の上で受けていただくこと
  3. 当院は近隣の医療機関と連携して専門性の高い医療を提供する急性期病院である。救命救急、がんに対する医療と緩和ケアを提供する病院の役割をご理解の上、診療体制維持に協力いただくこと
  4. 病院内では静粛を保ち、院内のルールに従っていただき、他の来院者や入院中の方に迷惑をかけることのないよう配慮していただくこと
  5. 病院内ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接していただくこと
  6. 医療費の支払い請求を受けたときは遅滞なくお支払いいただくこと

### 受診者の皆様の権利

- 患者としてあなたには
1. 良質で公平な医療を受けられる権利があります。
  2. 人格や価値観を尊重される権利があります。
  3. 個人情報を守られる権利があります。
  4. 診療に関して、十分な説明と情報を受ける権利があります。
  5. 治療法を選択できる権利があります。
  6. 治療法について、第三者の意見を聞くことが出来る権利があります。
  7. 貴方の診療記録の開示を求める権利があります。



## 院長 橋爪 俊和

新年あけましておめでとうございます。21世紀も4分の1が過ぎながら、世の中の情勢は重苦しい状況が続いています。しかし、我々は地域の医療・健康増進のために日夜努力を惜しむことなく、その使命を果たしていかねばなりません。着任して日も浅く至らぬことばかりですが、組織の刷新・改革を進め、病院機能充実とサービス向上への注力を怠らず、地域医療支援病院の役割を担うべく努力し、様々な情報発信も行う所存です。また、常に感染対応も継続的に配慮しております。まだまだ役割を果たせていないところもあり、地域医療機関の皆様からご意見を賜りながら、確実・適正・迅速に使命を遂行いたします。本年もご支援ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

## 副院長 西林 宏起

新年あけましておめでとうございます。昨年は元旦から自然災害の報が飛び込み、大地震に対する備えについて改めて考えさせられる年となりました。また、社会情勢や気候の変動はもとより医療福祉を取り巻く環境の変化も実感するようになりました。医療におけるデジタル化や人工知能の活用が今後一層進むことが予想されますが、なにより医療に携わる人々自らが成長、進化することで困難な状況を克服することができると思います。紀南地方は古くから受け継がれてきた自然や有形無形の史跡が豊かですが、この地域で皆様が安心して生活を送れるよう、病院職員一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

## 統括診療部長 横山 省三

明けましておめでとうございます。新しい年が皆様にとって健康で幸多き年となりますようお祈り申し上げます。昨年は医師働き方改革が施行され、地域連携においてご不便をおかけしましたことお詫び申し上げます。さまざまな疾患に対する医療が完結できるよう地域の先生方とさらに連携を強め、当院の役割を果たしていきたいと考えております。今年はいよいよ地域医療構想が本格的に始まります。地域の先生方や住民の皆様にご迷惑がかからぬよう尽力してまいりたいと思います。今年も地域の皆様と共により良い医療を提供できるよう努めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

## 薬剤部長 古川 順章

新年あけましておめでとうございます。本年は医療業界にとってパラダイムシフトともいえる「2025年問題」を迎えます。医療政策が大きく変革する年となり、これまで以上に地域の医療機関の皆様との連携体制を強化し、地域医療に貢献できるようメディカルスタッフ一同で協働して頑張っております。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



## 看護部長 八軒 美幸

新年明けましておめでとうございます。平素より地域の皆様方には多くのご支援、ご協力を賜り心よりお礼申し上げます。2025年の干支は「乙巳（きのとみ）」とされ、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と意味づけられています。これまで以上に地域の医療機関や施設の皆様とのつながりを大切に、さまざまな変化に柔軟でしなやかに対応し、ともに地域医療の発展を目指し連携を強化していきたいと思っております。そして、皆様から信頼していただける「ていねいな看護」を実践するために、さらに「知」と「技」を磨くことに、看護部職員一同努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 事務部長 岡井 健二

新年あけましておめでとうございます。地域の医療機関の皆様方には日ごろから当院の運営にご支援、ご協力賜り誠にありがとうございます。医療を取り巻く環境は「2025年問題」をはじめとする様々な課題に直面しています。復活と再生の象徴であり、医療のシンボルでもある今年の干支「巳」にあやかり、様々な課題に柔軟に対応しながら地域医療の発展に少しでも貢献できるよう取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。

# けんこうフェスタを開催しました

令和6年12月7日（土）、Big・Uにて「けんこうフェスタ ～いきいき健康 からだとこころ～」を開催しました。コロナ禍は中止していたこのイベントですが、昨年度数年ぶりに再開し、今年は有志スタッフにて夏頃から打ち合わせを重ね、各部署が趣向を凝らしたブースを準備できました。

【ブース一覧】よろず医療相談・薬局のおしごと体験・骨密度測定・サルコペニアチェック・ちょこっと栄養相談・ストレスチェック・がん相談室・アロママッサージ・こども白衣体験・BLS体験・展示コーナー お子様から大人の方まで楽しんでいただきました！

はまゆう保育園児によるダンス発表会の後、皆さんお待ちかねのお菓子・お餅まきを行い、大盛況のうちに無事終了しました。計350名もの方にご来場いただき、地域住民の方に健康について考えていただく良い機会になったと自負しております。

時期は未定ですが、来年度も開催予定ですので、皆さま是非ご参加ください。

職員一同、準備を整えて皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

## 会場の様子 多くの方にご来場いただきました



## 第33回地域医療連携カンファレンス開催のご案内

当院では、地域の医療・介護従事者の皆様を対象として、カンファレンスや研修を定期的で開催することにより、情報の提供や共有を進めて連携を強化し、地域医療の向上に貢献していくことを目指しております。

この度は第33回地域医療連携カンファレンスを下記のとおり開催いたします。特別講演では和歌山県立医科大学麻酔学講座 月山淑先生より緩和医療における地域連携についてお話しいただきます。

ご多忙中とは存じますが、是非ご参加いただきますようお願いいたします。

日 時	令和7年3月15日(土) 15:00~17:30 (懇親会を予定しております)		
場 所	ガーデンホテルハナヨ 2階 (和歌山県田辺市文理2丁目36-40)		
対 象	在宅医療にかかわるすべての従事者	テーマ	「緩和ケア～在宅医療と地域連携～」
【第1部】	講演15:00~15:40 「自宅で最期を迎える患者の支援」 講師：あしかわ在宅クリニック がん性疼痛看護認定看護師 千葉 明美 先生		
【第2部】	特別講演16:00~17:00 「緩和医療における地域連携 ～お家へ帰りたいをどう支援するか～」 講師：和歌山県立医科大学麻酔学講座 准教授 和歌山県立医科大学附属病院腫瘍センター 緩和ケアセンター長 月山 淑 先生		
連絡先	南和歌山医療センター 地域医療連携室 松葉 ゆりか TEL 0739-26-7063 FAX 0739-26-0783		

## 第32回地域医療連携カンファレンスの開催報告

令和6年12月7日(土)開催の「けんこうフェスタ2024」(会場Big・U)のプログラムのなかで第32回地域医療連携カンファレンスとして当院講師による講演会を開催いたしました。

第1部では整形外科の延與良夫医師より「あなたの骨は大丈夫?～骨粗鬆症のお話～」、第2部では宮本眞也放射線技師より「骨密度検査のお話～いつ、どこで受ける?～」をテーマに、人口の高齢化に伴い今後ますます増加する骨粗鬆症について、予防や治療、検査方法にまつわるポイントを、県内の診療状況も交えてわかりやすく解説いたしました。



1部・2部の合計で約100名の地域の皆様にご参加いただくこととなり、質疑応答では時間いっぱいまで質問が行われるなど、皆様の関心の高さがうかがえる講演会となりました。

### 編集後記

新年あけましておめでとうございます。

今年は巳年で干支では「乙巳(きのと・み)」の年です。乙巳は、これまでの努力や準備が物事を安定させ周囲との調和を保ちながら目標に向かって進む、成長と結実の年と言われています。

地域の皆様により良い医療が提供できるよう、当院職員一丸となってより一層成長したいと考えております。

薬剤部長 古川 順 章